

令和7年度 コミュニティ・スクール大野城市立平野中学校

学校運営協議会だより

平野の杜

学校の教育目標
志をもって学び、自律心と豊かな人間性を
身につけ、地域・社会に貢献できる生徒の育成

令和7年7月18日 文責 教頭 井口 弘美

◆学校運営協議会を開催しました

令和7年度がスタートして、約4か月が過ぎ、1学期終業式を迎えました。

この4か月間、教育活動を無事に進めることができたのは、生徒達の日々のがんばりと保護者や地域の皆様のご理解とご協力・ご支援があったからこそだと思っております。心から感謝申し上げます。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度第1回学校運営協議会を、5月15日（木）に開催しました。令和7年度学校運営協議会は、全部で4回開催する予定としております。

令和7年度の委員の皆様は次の方々となります。

委員の皆様には、学校運営に関して多くのご指導・ご助言をいただきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

学識経験者	堀田 徹 様（筑陽学園中学校教頭）	委員	中島 邦秀 様（平野台区長）
会長	黒上 勝史 様（本校元PTA会長）	委員	森 顕 様（月の浦区長）
副会長	田中 利栄 様（本校PTA副会長）	委員	妹尾 洋子 様（南地区民生委員）
委員	上野 節義 様（南ヶ丘2区長）	委員	藤田 秀之 様（大野南小学校校長）
委員	久家 幸雄 様（つつじヶ丘区長）	委員	斉藤 智子 様（平野小学校校長）
委員	内野 知子 様（南ヶ丘1副区長）	委員	山田ゆう子 様（月の浦小学校教頭）
委員	木下 哲夫 様（牛頭区長）	委員	中川 江里 様（市行政）
委員	立石 弘司 様（若草区長）	委員	井口 弘美 （本校教頭）

事務局 藤田 天平（校長） 竹井 直也（教頭） 高木慎太郎（主幹教諭） 柴田 正治（主幹）



第1回運営協議会では、はじめに、本年度の学校経営要綱、コミュニティ・スクールの推進について藤田校長より説明を行いました。

藤田校長からは、本校の教育理念『共育』の精神のもと、生徒にとって「通いたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」、地域にとって「応援したい学校」、教職員にとって「働きたい学校」を示し、教育目標「立志・自律・貢献」、支援の基盤『凡事徹底』をキーワードとして、生徒も教師も「時を守る」、「場を清める」、「礼を正す」を具体的な姿として教育活動を行っていくことを説明しました。また、昨年度の成果と課題を受けて、教師重点目標を「率先垂範」とし、重点目標達成のためのミッションや教職員を3つの部会で組織する等、説明しました。さらに、コミュニティ・スクール推進計画の具体を説明し、委員の皆様の承認を得ました。

次に、本校における「地域貢献活動」「ふるさと創生学校じまん事業」について、本年度の目標も昨年度と同様に「参画」をキーワードとして取り組んでいくことや実際の活動の進捗状況を説明しました。

その後、「不登校対策に向けた取り組みや支援」について熟議を行いました。竹井教頭から、昨年度の実践について説明しました。成果として、不登校出現率が減少したこと、区長様のご理解のもと公民館文庫を生徒の居場所・学びの場として提供していただいたこと等をあげました。今後も、学校・保護者・地域と連携しながら、取り組みの一層の充実を目指していくことを説明しました。委員の皆様からは、取り組みについての質問や今後でもできることを協力していきたい等、ご意見をいただきました。

最後に、筑陽学園中学校教頭の堀田徹先生から、「それぞれの説明が明確で、目標や達成のための取り組みが整理されており、生徒達の意識につながっている。自信をもって進めていただきたい」とご指導・ご助言をいただきました。また、組織運営に関わり、以前筑紫地区で新任教頭だった時に上司から示された『教育実践上の基本認識10カ条』のうち「現状維持は衰退をもたらす」について「主体性と創造性をもって、新しいことでも創意の工夫をして遠慮なく進めてほしい。徹底して、共有して、役割分担をしてコミュニケーションを紡いでほしい」とご指導をいただきました。さらに、「地域の皆様の力が素晴らしい」とお話をされました。

委員の皆様や堀田先生のご指導とご助言を受けて、「立志・自律・貢献」をめざす教育活動の充実や「地域貢献活動」「不登校対策」等の取り組みや支援を行っています。これまでの成果と課題については、現在、前期学校評価アンケートを実施しているところです。次回の学校運営協議会で結果を説明する予定です。

※次回の第2回学校運営協議会は、9月30日火曜日15：30から多目的室にて行います。
（第1回の資料に掲載していた9月19日金曜日から変更しています。）

